

令和2年度「学校評価」地域アンケートの結果とその対応について

秋田県立雄物川高等学校

1 アンケート実施時期

令和2年12月

2 質問項目の設定理由

本校では、今年度の重点目標を「元気な郷土づくりを支える人材の育成～生徒に勇気と自信をもたせ、夢を叶える～」とし、生徒の豊かな心を育み、社会的自立を支援する学校を目指して特色ある取組みを行って参りました。特に生徒会や家庭クラブの諸活動、福祉コースの介護施設実習、保育園実習等においては、地域の皆様の温かいお心遣いと御協力により、生徒は多くのことを学び成長しております。

また、PTAとの連携による「登校時一声運動」や定期的な校外巡視などを行い、あいさつの励行や校外における生活の指導にも力を入れております。しかし、職員による巡回指導にも限界があり、校外における生徒の状況については十分に把握できないのも実状であり、校外における生徒の状況について学校周辺にお住まいの皆様にお伺いいたしたく、昨年に引き続きアンケートを実施することにいたしました。

3 アンケート協力依頼先（依頼数）

スーパーセンタートラスト（5）	マックスバリュ雄物川店（3）
横手市商工会雄物川拠点センター（4）	雄物川町体育館（2）
里見郵便局（3）	なをこそばや（1）
羽後交通（4）	平鹿自動車学校（4）
横手モータースクール（4）	横手明峰中学校（10）
平鹿中学校（5）	十文字中学校（5）
東由利中学校（5）	雄物川小学校（5）

4 アンケート回収率

民間企業等	73.3%	(22/30名)		
小中学校職員	100%	(30/30名)	全体	86.7% (52/60名)

5 アンケート集計結果

次ページ掲載

6 アンケート結果の4カ年比較

A+B = 「立派、さわやか、指導が行き届いている」 + 「概ね良い、指導がますます浸透している」

C = 「以前と変わらない、生徒にばらつきがある」 D = 「あまり良くない」

問5のCは、「指導があまり浸透していない」という項目

単位 (%)

	問1（生徒全般）		問2（挨拶）		問3（服装）		問4（行動）		問5（生徒指導）	
	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
H29	93	7	89	9	96	4	93	7	100	0
H30	96	4	88	12	100	0	88	10	98	2
R1	91	9	82	18	91	9	95	5	96	4
R2	94	6	89	12	93	8	94	6	98	2

7 自由記述欄にご記入いただいた内容

(1) 企業等

- 率先して挨拶してもらい、とても良く指導が出来ていると感じた。
- ポスターの掲示依頼等で会う機会があったが、言葉遣いや行動・態度も立派で良い印象を受けた。
- 将来への目標を意識した活動が行われていると思う。自分に自信を持って学校生活を送れていることがすばらしい。
- 素直な生徒が多く、今後社会に出てからの伸びや活躍が楽しみである。
- 学校統合の話聞いたが、地域から高校がなくなることを残念に思う。残してほしい。
- カップルで来店して他のお客様に不快感を与える行動があり、従業員に伝えられたことがあった。
- 数年前に比べておとなしい生徒が多いように感じる。これと共通して、挨拶しない生徒が多くなったと感じる。

(2) 小学校・中学校

- 物品の返却に来校した際、挨拶、礼儀がどの生徒もしっかりしており、自分の役割を頑張る姿が見られた。
- 一人でも町の人やお世話になった先生方に明るく挨拶する生徒が多く好感が持てる。
- 服装の乱れている生徒はほとんど見たことがない。
- 小学生があこがれる高校生でありたいという気持ちが表れていて、今後も地域に貢献する高い志をもち続けてほしいと思う。
- 一人ひとりの個性の伸長が図られている。その背後には教師集団の生徒を愛する心、ベクトルが一致した指導があると感じている。生徒と共に歩いていく学校風土が醸成されている。一人ひとりの実態に即した細かな指導、支援がなされていると感じる。
- 高校生の元気な姿に励まされる。一生の中でとても大事な三年間を勉強や部活動などに打ち込んでほしいと願っている。先生方の丁寧なご指導に心より感謝する。地域住民として応援している。
- 学校付近の道路を広がって通行していること（下校時、部活時等）があるため、車が通ったら一列になるなどの配慮ができるとよい。

8 アンケート結果に対する本校の対応

どの設問についても、ここ数年の平均的な数値となっており、ほぼ9割以上の方から「A」・「B」の評価をいただいております。本校の教育活動の全体の方向性としては、今後も継続していきたいと思っております。コロナ禍で例年通り実施できなかったバレーボール部や陸上競技部をはじめとする部活動や、家庭クラブ、JRC、生徒会の地域に係わる活動を評価していただけるよう、今後も取り組んで参ります。

一方で、挨拶、行動の積極性、生徒指導に関してご指摘をいただいております。挨拶については、「C」・「D」の数値が他の項目よりも低い傾向にあることから、新入生の段階からコミュニケーションの第一歩となる挨拶の意義、必要性をしっかりと指導して参ります。行動の積極性に関しては、パスカルタイムでのさまざまな活動でコミュニケーション能力の向上を図っており、改善しながら社会性やコミュニケーション能力を高める指導を進めて参ります。生徒指導に関しては、地域社会の一員として公共の場での振る舞いや、周囲への思いやり・気配りのできる生徒となれるよう、HRや集会等を通して指導の機会を増やして参ります。

日頃から、部活動やボランティア活動等において、地域の方々から多大なご支援をいただいております。生徒達の人間的成長につながる経験を与えていただいております。今後とも、皆様から寄せられるお声にしっかりと耳を傾け、よりよい学校づくりを進めてまいりますので、変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。